

大山地域の現場訪問について

3月4日（日）の「黒岩祐治が行く！神奈川の現場」では、「大山とうふまつり」開催中の大山地域を訪問しました。

大山とうふまつり

直径4mの大鍋で作った薬草（大山菜）入りの湯豆腐を来場者の方々に振る舞った後、多くの観光客でにぎわうまつり会場を視察しました。



大山阿夫利（あふり）神社下社

大山阿夫利神社にて、境内及び拝殿の地下から湧き出る大山名水を視察しました。その後、目黒宮司と大山の名水を観光に活かす方策などについて意見交換を行いました。

大山寺

阿夫利睦（あふりむつみ）の磯崎会長から、大山寺の歴史について教えていただきました。その後、大山寺の住職から、国の重要文化財に指定されている「不動明王」や「二童子像」などについて、説明を受けました。



こま参道

「大山こま」、「きゃらぶき」といった土産物店や名物の「とうふ料理」を味わうことのできる飲食店などが軒を連ねる「こま参道」を歩き、若手のこま生産者による制作現場を視察しました。

宿坊かげゆ

先導師旅館「宿坊かげゆ」で、県の「新たな観光戦略」、横浜、鎌倉、箱根に続く「第4の観光の核」づくりについて、地元関係者に説明を行い、歴史的観光地である大山の魅力を、今後さらに高めていく方策について、意見交換しました。

